

活動報告



草刈りのご要望があり、担当課にお願いしました(南小学校通学路)。



議員の皆さんと普通救命講習に参加。心肺蘇生法とAEDを実習しました。



旧広田医院。町で初の国登録有形文化財指定を記念した講演会&現地見学会に参加。



応援に来てくださった山中優宏鎌ヶ谷市議と共に町内ふれあい活動を行いました。



町村議会議員研修会で「若々しい高齢者であるための行動学」講義に参加学びました。



中華民国112年双十国慶節の祝賀式典に出席。台北駐日経済文化代表横浜分処・張淑玲処長の日台親善スピーチに感動。



寒川町小学生体験学習「七宝焼きとクイズラリー」愛川ふれあいの村に青少年指導員として参加。



ふれあい福祉フェスにてジュニアリーダーズクラブの皆さんと魚釣りコーナーを担当。障がいのある方もない方も一緒に楽しんでいただけました。



第一回さむかわ天才万博が川とのふれあい公園で賑やかに開催されました。



小出川彼岸花まつりの式典に参列しました。



寒川小学校避難所開設訓練。耐震性貯水槽による給水訓練を体験しました。



ノコギリでよいしょ！産業祭で、さむかわエコネットの廃材によるコースター作りをお手伝い。

寒川町社会福祉協議会主催のセミナー「安心して暮らせるように親なき後の準備を」に参加。私も相談員として、議員として、そして障がいのある子供の親として、大変学びになる機会をいただきました。



町の小中学生対象クリスマス会に教員、ジュニアリーダーズクラブの皆さんと参加。大変盛り上がりました！



さがみグリーンラインの草刈りを県の担当課にお願い。



484人の成人が門出を迎えました。当日は成人式運営のお手伝いをしました。

公式LINEにて、活動報告配信中  
ともだち登録よろしくお願ひします！



町政報告会5.12日(予定)

お知らせ  
ゲストに幸福実現党党首積量子などを予定しています。写真は2023年7月の町政報告会。たくさんの方の町民皆様にご参加いただきました。

幸福実現党「日台友好議員連盟」



日台議連による台湾視察。

幸福実現党 日台議連の講演会にて、曾建元・公民監督国民連盟理事長にご講演いただきました。



町民皆様、署名活動へのご協力に感謝申し上げます



幸福実現党 神奈川県本部が神奈川県議会議員長宛に、「マイナンバー法等の一部改正に伴う、健康保険証廃止反対の意見書の提出を求める陳情」と署名3203筆を提出しました。

はしもと修一 (プロフィール)

寒川町議会議員(会派に所属しない議員)／幸福実現党 神奈川県本部役員 兼 寒川地区代表／文教福祉常任委員会副委員長／建設経済常任委員会委員／東海道新幹線新駅対策特別委員会委員／青少年問題協議会委員／寒川日台友好議員連盟事務局長／青少年指導員／視覚障がい者へのボランティア活動／不登校児支援スクール「ネバー・マインド」相談員／一般財団法人「いじめから子供を守るネットワーク」相談員／一般社団法人「ユー・アー・エンゼル(障がい児支援活動)」相談員／介護福祉士／ケアマネージャー／養護老人ホーム湘風園勤務／元進学塾室長  
好きな言葉:「われ以外みなわが師」「凡事徹底」／モットー:「現場主義」「心に寄り添う政治」



ご連絡・お問い合わせ TEL:080-7059-2541 E-mail:love.samukawa@gmail.com

はしもと 修一 通信

Vol.13

町政・議会報告



寒川町議会議員  
はしもと 修一

町民の皆様こんにちは。平素より格別のご支援とご協力を賜り心より御礼申し上げます。今年には議員として4年目(最終年)を迎えます。この3年間、公約で掲げた政策の実現や町民皆様のご相談に対し、あらゆる機会を通して訴えてまいりました。多くの方々のご尽力により実現したのも、調査・研究、検討段階のものもあります。寒川町の未来が安全で豊かであるために、これからも現場主義・心に寄り添う政治を通して、一つひとつの課題に丁寧に対応し、「ぬくもりのある“幸福社会 さむかわ”の実現」に向けて邁進してまいります。今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願ひ申し上げます。

ぬくもりのある“幸福社会 さむかわ”の実現を目指して!

12月会議 一般質問①

調整区域(一之宮8丁目周辺)の環境のあり方について

田畑が多いこの地域が、ここ数年資材置き場、駐車場に変わり、高い塀などが設置され、景観が大きく変わっています。工事が進められる中、地域住民そして自治会からも不安の声があがっていました。役場への主なご相談は、高い塀により見通しが悪くなり交通上の危険がある。高い塀やライトによる農作物への影響があるなどで、当事者間での話し合いもされています。

そこで、町としてどのように現状を把握し、地域住民への説明や対応をされているのか。また、保育園、小学校周りの環境の在り方についてどのように考えているのかを問いました。



12月の会議にて一般質問に立つ橋本。

町としての回答(一問一答)

- ➡農地を農地以外に活用するには、申請手続きを町農業委員会事務局に提出する必要があります。その後、農地の転用手続きの内容や周辺の営農条件への悪影響がないかなどの確認を行った上で、意見を付して神奈川県に提出しています。また、農地転用時には、申請者に対して周辺農地への影響はもちろんのこと、隣接する農地地権者等、関係者への説明を求めています。
- ➡稲の育成に影響があるとのこと相談には、現地の農作物への影響を確認し、事業者に対して是正に向けた検討の協力をお願いしました。
- ➡土地利用について、町として是正を求めることは難しい状況があります。しかし、農地の転用をされた方をはじめ、その地域で生活されている方、また、農業を営まれている方など、全ての方が生活しやすい環境を整えていく必要があると考えています。様々なご相談に対し、町としてできる限りの協力をさせていただきたいと考えています。

今回の一般質問を通して、町の考えや取り組み、課題を認識することができました。今後も町の各担当課と連携し、経過を見守ってまいります。

一般質問の詳細はぜひ動画をご視聴ください。 <https://samukawa-town.stream.jfit.co.jp/>

寒川町議会 検索 寒川町議会ホームページ → インターネット中継 → 議員一覧から選ぶ → 橋本修一



## 12月会議 一般質問②

# 児童発達・発達障がい者(児)支援の現状・課題・取り組み

文科省の調査(令和5年12月)によると、公立小中学校の通常学級の児童生徒の8.8%に、読み書き・計算など学習面の困難や、不注意、対人関係を築きにくいといった行動面の困難がある「発達障がい」の可能性があると判明。しかし校内委員会は、そのうちの約7割の生徒には「特別な教育的支援が必要」とは判断せず、また、「特別支援教育の知識がある教員が少なく、適切な支援ができていない可能性」を指摘しており、「学校全体での取り組みやそれを支える仕組みが必要」との見解を示しています。そこで、児童発達支援の先進的な取り組みを行っている三重県いなべ市を行政視察し、ここでの学びを踏まえ、寒川町の取り組みや課題等を確認し、出生から就労後までの途切れない支援について提案をしました。**大切なのは、一人ひとりの個性を理解した丁寧な支援により、誰もが自分らしく個性を發揮した生き方ができることだと考えます。**

### 一問一答

#### ◆小中学校の発達障がいに関する取り組みと課題

▶特別支援学級。小谷小、一之宮小は通級教室(ことばの教室)を設置。インクルーシブ

教育の推進。専門家を招いた支援会議等。通級のない学校の保護者の送迎負担を今後検討する。

#### ◆教職員への専門性を高める取り組み

▶県や町、特別支援学校等において研修を実施。

#### ◆発達障がいの診断を行う近隣の病院

▶県内5医療機関を把握。神奈川県発達障がい支援センター『かながわA(エース)』と連携。

#### ◆発達障がいの早期発見

▶乳児家庭全戸訪問、乳幼児健診(公認心理師による発達相談)、相談事業等。

#### ◆発達障がいの早期支援(ライフステージに応じた切れ目のない支援)

▶〈健康福祉部〉保育所等訪問支援事業、保育士支援事業、ペアレントトレーニングの実施など。〈教育委員会〉就学相談、各課との連携などを通して早期支援の構築に努めている。〈学び育成部〉あそびの広場などの事業。福祉課と連携し児童発達支援事業の利用等。

#### ◆就労前後の支援

▶湘南地域就労援助センターによる就労相談、職場体験実習、進路説明会(茅ヶ崎支援学校主催)など。

#### ◆町長は健康管理センター及び消防庁舎跡地を活用した健康・福祉拠点の整備を公約しています。療育・発達障がい者(児)に向けての相談体制や設備についてのお考えを

▶さまざまな機能の相乗効果も期待した複合施設とすることも十分検討したいと思いますが、将来的な施設は今しばらくお時間をいただきます。

## 行政視察

入学前の幼児の療育教室。マジックミラーの窓からは、保護者が参観できる。

### 児童発達 乳幼児期から就労期まで途切れない支援 ~三重県いなべ市

当市の「チャイルドサポートシステム」は子育て支援の柱の一つ。担当課の縦割りをなくし、保健・福祉・教育が連携して、乳幼児期、就学期から就労期までの途切れない支援を提供。厚生労働省、教育総合研究所がモデル市町村、研究協力機関に選定。



心理療法の一つである箱庭療法。砂やミニチュア玩具が整備。

### Maas※「おでかけもの」~三重県菟野町

#### ご高齢者からご相談が多い移動手段の確保について

マイカー以外の交通手段による移動を1つのサービスと捉え、町内を運行する全公共交通機関を電話やスマホ等から予約できるシステムを構築。特に力を入れている「のりあいタクシー」をスマホから予約して体験。4人乗車可能でひとり200円(ネット割引)。とても便利でした。国土交通省の先行モデル事業として、国や県等からの補助金と町の初期投資やランニングコストを予算化。寒川町にも相応しいサービスと考えられるため、あらゆる機会を通じて訴えてまいります。



### 自動運転バス ~愛知県日進市

国の自動運転に向けた計画案に基づき、全国の先進地では実証実験が行われています。日進市の事例は全自動運転ではなく、オペレーターが乗車し状況に応じて手動で対応するものでした。私は自動運転を議会で取り上げているので、今後も関心を持って情報収集し検討してまいります。



※Maas(マース)とはMobility as a Serviceの略で「サービスとしての移動」のこと。

## 委員会での主な活動

### 倉見新駅、町づくりに向けて 東海道新幹線新駅対策特別委員会視察

#### ①『パナソニック汐留サイバードーム』

内径8.5メートルの球面ディスプレイが圧巻。倉見駅のイメージを環境計画支援VR(仮想現実)を通して等身大で体感できました。町民の皆様へ新駅や町づくり等をご説明する際に活用するツールとしてとても有効だと感じました。



3D眼鏡をかけディスプレイ前に立つ橋本。ダブルで見えている映像は3D眼鏡をかけることで立体的に見えます。

#### ②『みそのウイングシティ』

埼玉高速鉄道浦和美園駅を中心としたエリアで推進されている、「公+民+学」を基本理念とした大規模な都市開発。『埼玉スタジアム2002公園』を軸に、「スポーツ、健康、環境・エネルギー」をテーマとした町並み・住環境の向上など、大変魅力的な町としてさいたま市の副都心となっています。東北自動車道浦和インターチェンジがあることで交通の利便性も高く、倉見地区の町づくりに向けてとても参考となる内容でした。

### 政府の物価高対策と 町単独の給付金等について

議案75号令和5年度一般会計  
補正予算 第6号

#### 補正 質疑



補正予算の討論を行う橋本。

これまで国を中心に給付金や補助金の支給を際限なく繰り返してきました。一時的に潤う効果はあると思います。しかし、物価高の原因は、製品やサービス等のコストの増大、需要の増大、流通する貨幣量の増大などにより、何よりもエネルギー価格の上昇は、政府のアメリカ追従のロシア外交による影響とバラマキによる円安が原因です。

一律の給付金支給などの政策を続けてきたことで円安となり物価が上がり、賃金の上昇が伴わないことで生活が苦しくなっているのが実態です。政府には1200兆円もの借金があり、国民負担率が5割に迫っています。この政策を続ける限り、増税が加速することが推測されます。

いま行うべきは、**税金の無駄使いを徹底的に見直し、減税により所得を増やす取り組みが重要**との考えから、補正予算では反対しました。



出典:『郷土さむかわ 第22集』  
(平成11年、寒川町郷土研究会)

かつて倉見が「桜の名所」であったことをご存じだろうか。1901年(明治34年)、倉見の名主である真田喜三郎氏により、町北西部を流れる永池川の堤(現在とは流れが異なる)に桜の苗800本が植樹されたのが始まりである。

その後、昭和初期には「神奈川の桜の三大名所」、「湘南の新名所」として周辺に知れ渡り、開花時期には、当時の相模鉄道が臨時列車を運行し、近隣自治体から芸者や出し物が催され、多くの見物客で溢れていたという。

残念ながら桜は、第二次大戦中に燃料用の薪として伐採されてしまい、現在は町名に往時を偲ぶのみである。将来、新幹線が来たりて再び「注目の街」になるか。倉見の未来に注目したい。

## 倉見の桜 寒の歴史